

戸山高校生徒研究成果合同発表会 TSS に参加して

- ◇期 日 平成 31 年 2 月 3 日(日)
- ◇場 所 東京都立戸山高等学校
- ◇参加者 S S 発展探究 α 数学ゼミ生徒 3 名
- ◇指導者 笹島浩平教諭

東京都立戸山高等学校で行われた第 7 回 生徒研究成果合同発表会 TSS には、東京都内の学校はもちろんのこと、新潟から熊本までの 37 校が参加し、アメリカ、フィリピンなどの外国の高校生の英語による発表もインターネット回線を通して視聴することができました。発表は、物理が 32 班、化学が 42 班、生物が 46 班、地学が 22 班、数学・情報が 30 班、研修発表が 12 班、小学生の発表が 4 班、オンライン発表が 7 班など、数多くありました。

数学ゼミ所属の私たちは、1 年にわたって研究した「遊ぶだけじゃもったいない！折り紙の深イ話！～正 n 角形ねじり折り～」の発表を行いました。ねじり折りは大きな紙をねじって平坦に折る折り方で、日々研究を重ね、ねじり折り可能な角度、ねじり折りの折り方の総数を求めました。研究にあたって、富山大学の先生方にも助言をいただき、結論を導くことができました。

戸山高校での発表では、難しい内容をどうすれば端的にわかりやすく伝えられるか、長い内容をどうすれば飽きずに楽しんでもらえるか、聞き手の心をつかむためにどのような工夫をすればよいかなどを考え、先生の指導の下、より良い発表を目指しました。県外での発表なので、ねじり折りを応用した富山名物ますのすしの折り紙もプレゼントしました。

他校の発表は、それぞれ着眼点が素晴らしく、日々の生活に即した研究を行っており、大変刺激を受けました。私たちの聞いたフィリピンの高校生の英語発表は、対照実験を行い、情報の正確さにも気を使った手の込んだ内容になっていました。

各県を代表する高校が集まる発表会の場で発表できたことは、私たちにとって大変良い経験になりました。研究の過程では思考力や協調性を養い、発表準備では内容をいかにわかりやすく伝えるかなどを考え、聞き手を意識した発表をすることができました。私たちに発表の機会を与えてくださったすべての方々には感謝の心でいっぱいです。

